

慈明院寺報四月号

春のお彼岸まいりについて

仏を拝む練習



お寺によく問い合わせがくる相談に、仏壇や神棚をどう処分したら良いかというものがある。亡くなつた両親の家に大きな仏壇があるが、自分たちは引き取つて祀る事ができない。家財道具と同じように処分したら、バチが当たるんじやないか・・・そんな不安を抱えて相談に来る方もおられる。

そんな時「仏壇拝むのはね、練習なんですよ。」と答えるようにしている。本来仏教では、仏像を造る事を禁じていたと云われている。お釈迦様は目に見える仏像に執着していっては、目に見えない本当に大切な仏教の教えがおろそかになつてしまふと考えて、仏像を造る事をしなかつたそうだ。

しかし、お釈迦様が亡くなつた後、残された弟子たちはお釈迦様の遺骨（いこつ）舍利（しゃり）を欲しがつた。偉大な師匠（いだいしじょう）の形見（かたみ）をそばに置いておきたかったのだ。そしてお釈迦様の舍利は八つに分けられて、ストウーパと呼ばれる仏塔が建立（れんり）された。これが最初の仏教のシンボルとなつて拝む対象となつていった。

その後、紀元後一年くらいに、お釈迦様を象徴化した仏像（じょうしやう）が造られたとされている。そして、目に見えない本当に大切な仏教の教えを会得するためには、仏像を拝むようになり、位牌（いはい）や墓石（ぼせき）といった拝む対象が増えていった。

形あるものを拝むのはなぜか？それは目に見えない仏教の大切な教え・・・人と人とのご縁について深く考えたり、目に見えない心を自分自身がどう治めていくか、それらに気づくために仏壇を拝んで練習するのである。役目を終え節目を迎えた仏壇や神棚（しよばん）を処分するのも、目に見えない心の修行（しゅぎょう）である。形がある対象が無くとも、心穏（おだやか）に手をあわせられるように。それがお釈迦様の本当に大切にしたかった教えではないかと思う。

住職 合掌

本年は三月十七日（日）より、春のお彼岸まいりをお勧めさせて頂きます。各檀家様には、すでに「お彼岸まいり」のお知らせを送らせて頂いております。お忙しい時期とは存じますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

花まつり 自由参拝のご案内

令和六年 四月一日（月）～四月八日（月）

朝九時～夕方五時位迄

甘茶（かなみどう）、お菓子（たんじょうぶつ）に誕生仏（お釈迦様）を安置して、甘茶をそいでご供養（しやかさま）致します。花御堂（はなみどう）に安置しております。大師堂（だいしじょう）へお参り下さい。どなたでもおまいりできます。どうぞお誘い合わせの上、お参り下さいませ。（別紙参照）

住職の独り言 時川総代さんの御兄弟である

時川直久さん（じゆく）にご協力頂きまして、ホームページを刷新（しんし）しました。下のQRコードでスマホからログインできます。検索サイトで「慈明院 福岡」で検索して頂いても表示されます。インスタグラムもやってます。



慈明院（じみょういん）
〒八一ー一三一 福岡市早良区大字西二三四一ー二〇
TEL（〇九二）八〇四一四五七〇 FAX（〇九二）八〇四一四六〇五
おだやかに手をあわせられるように。それがお釈迦様の本当に大切にしたかった教えではないかと思う。